

災害時との連続性を考慮した平常時における時空間 GIS の利用促進

浅野 耕一¹

¹秋田県立大学

E-mail: asano@akita-pu.ac.jp

既往の研究により、時空間地理情報システム（以下、時空間 GIS）を用いた情報処理について、平常業務と同じ操作での災害対応業務を可能にすることで、災害時の混乱した状況下においても円滑に運用できることが分かっている。由利本荘市では平成 20 年度より、この考え方に基づいた全庁統合型時空間 GIS を運用している。昨年度は、このシステムを活用した実践研究（実証実験研究）の第一歩として災害時の情報収集体制の提案と運用実験結果を報告した。本報では、平常時と災害時の連続性を向上させる取り組みの第二歩として、災害時用情報カードと災害情報レイヤを、逆に平常時用情報カードと平常時間問合せレイヤとして適用することを提案した。このカードを生活環境の問合せや要望・苦情への対応に適用し、有効性の検討を行った。

キーワード：時空間地理情報システム，リスク対応型地域管理情報システム，情報カード，図上訓練，災害情報収集